
どこにでもあるかもしれない会話

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どこにでもあるかもしれない会話

【著者名】

Z5835M

【作者名】 朔架

【あらすじ】

ありふれてるかもしれない会話の続編のよつた
続編じゃないような会話文です

「あ、先輩、卒業おめでとー！」ざいます」

「それ、今更じゃない？今何用だと思つてゐるの？？」

「3月…」

「よし、ちょっと殴らせろ」

「やだなー小糸なジヨークですよー」

「棒読みの時点で殺意がましたよ」

「先輩、ひどいなーこんなにかわいい後輩に対しても」

「君みたいな後輩をもつて俺はどんだけ苦労したことか

「どんだけー！…！」

「マジで殴つていい？？」

「あ、先輩、なんできてるんですか？」

「や、夏休みだし、君らの様子でも見ようとか思つただけなんだが

「へー」

「興味ないなら聞くなよ…」

「様子見に来るぐらいいなら、バイトでもして稼げばいいのひと

「そしてお前はその稼いだ金を狙うのか」

「流石、先輩。私のこと良く分かつてますね」

「それ以外に君が俺と関わることつてあったか

「部活で」

「や、まあ、間違つてないけど…」

「何か問題でも？」

「あるけど言わねー」

「あ、私に口で勝てないからですか？」

「うながこと、君」

「あ、先輩、またきたの？」

「来ちゃ悪いか？」

「いや、別に？」

「疑問に疑問で返すなよ

「で、何の用ですか？」

「先生は？」

「今日何曜日か分かってます？」

「水曜日じゃなかつたけ？」

「正解は木曜日。よつて職員会議で先生はいません」

「マジか？ 来た意味ねー」

「どんまいです」

(後書き)

ども、朔架です。

最近ネタがないので、会話文に逃げました。

先輩の扱いがどんどんひどくなるのは仕様でござります（笑）

平日更新しないつもりだったのにな
ま、いつか。

ではまた、別の作品でー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5835m/>

どこにでもあるかもしれない会話

2010年10月25日19時05分発行